

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山形県

行 事 名 称	深山観音堂自衛消防隊総合訓練
実施期間・日時	平成30年1月28日 午後2時～3時
実 施 場 所	重要文化財 観音寺観音堂境内（白鷹町大字深山）
主 催 者	観音寺観音堂、深山観音堂保存会、深山観音堂自衛消防隊

■実施内容

訓練の想定

深山区、保存会役員の会議中、観音堂の火災報知器が作動。火災が発生した。

訓練の内容

火災報知機通報により駆けつけ、現地確認し119番通報。半鐘を鳴らし、地元消防団、自衛消防隊が出動し放水銃2基を使用し放水。消防署が駆けつけ、消防車の消火ホースを持って石段を上り、本堂前で放水を開始。機械器具の点検、水利点検、機械器具の操作習得を合わせて行う。

参加者及び役割分担

文化財所有者（1名）：119番通報
 自衛消防隊（15名）：初期消火、放水訓練、伝達訓練
 深山観音堂保存会（5名）：安全確保
 深山区役員（4名）：安全確保
 消防白鷹分署（5名）：放水訓練、機器点検
 消防ポンプ納入業者（1名）：消防ポンプ操作指導
 教育委員会（2名）：現場立会い

特に工夫した点

11月に消防ポンプを更新してから初めての防火訓練であるため、ポンプの納入業者にも参加いただき、円滑に操作できるよう指導をいただいた。

問題点・課題

雪深い地域であるため、消火設備を使用できる状況の確保・維持。
 自衛消防隊の高齢化と住民数減少による今後の組織体制維持。

その他

毎年訓練を行っているため、迅速な対応ができている。年1回の訓練を継続する意義は大きい。

訓練風景



放水訓練



伝達・確認訓練